

山野井たかし後援会だより

No.52

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	渡辺 雅照
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2016年1月1日

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

市民が安心して暮らせる小山市をめざして、取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

平成27年第5回市議会定例会が1月26日から1月28日の日程で開催され、全29議案が原案通り可決されました。

また、本会議初日に議員提出により、『角田良博議員に対する辞職勧告決議』を提出、賛成多数で可決されました。



一般質問する山野井議員

【主な議案】

<平成27年度小山市一般会計補正予算（第4号）>

今回の補正は、約1億8,334万円を追加するものです。

主なものは、債務負担行為補正として『小山市小山市城南市民交流センター』をはじめ、指定管理者制度に伴う管理経費に関するもの7件『家庭ごみ収集運搬』など業務委託に関するもの9件、その他1件のあわせて17件で平成28年度年度当初から事業を行うために、平成27年度中に債務負担を行うためのものです。また歳出の主な補正については以下のとおりです。

- ・本場結城紬生産振興事業費 +4,000万円
- ・障がい者介護給付費 +1億7,000万円
- ・民間保育園入所委託料 +1億9,000万円
- ・認定こども園等施設型給付事業費 +2億2,118万円
- ・生活保護費 +1億 299万円
- ・駅東通り一丁目第一地区市街地整備事業費 △1億1,600万円

<小山市奨学金貸与条例の一部改正について>

貸与型奨学金制度に、新たに卒業後一定期間市内に定住することで奨学金の返還を免除することができる免除型奨学金制度（おやまふるさとみらい奨学金）を導入することになりました。

また、みらい奨学生には努力義務として市内でのボランティア活動への参加を求めています。

卒業後は6カ月以上市内に居住することで奨学金の返還が猶予され、さらに一定以上の期間、小山市で居住した場合、ボランティア活動への参加状況、学業成績等を勘案し、奨学金の全部又は一部が免除されるものです。

奨学生が卒業後に奨学金の返済に苦労していることが全国的な問題となっています。できれば貸与型ではなく給付型の奨学金によって、安心して学業に専念できる環境をつくるのが将来の日本を担っていく子供たちを支える制度として必要ではないでしょうか。

【トピックス】

<2度目の議員辞職勧告決議を可決>

本会議初日の冒頭、私（山野井孝）が挙手し、『角田良博議員に対する辞職勧告決議』議案を動議により提出することを求める発言を行い、多くの議員の賛成で議案として追加されました。

9月議会において、議員辞職勧告決議を可決しましたが、議員辞職どころか副議長辞任にすら応じないため、会派代表者会議（角田良博副議長を除く）において12月議会での再提出が確認されていたものです。

採決では、森田晃吉議員を除く26名の賛成で可決されました。

【市政一般質問】

1. 小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

Q：まち・ひと・しごと創生法では、地方が策定する総合戦略は地方の実情にあったものを策定するものとしているが、小山市が策定した総合戦略の考え方について伺いたい。

A：『雇用の創出』『人の流れの創出』『若年層の希望の実現』『持続可能な地域づくり』の4つの基本目標を設定。国・県と連動した取組みをするため、同様の基本目標を設定した。

Q：『新たな雇用の創出に向けた取組み』の中で実施する具体的な事業が重要業績評価指標（K P I）及び成果指標の達成にどのように繋がっていくのか伺いたい。

A：工業団地の開発による企業誘致、地元企業の育成、おやまブランドの情報発信など。

Q：『新しい人の流れの創出に向けた取組み』の中で実施する具体的な事業が重要業績評価指標（K P I）及び成果指標の達成にどのように繋がっていくのか伺いたい。

A：渡良瀬遊水地・本場結城紬等による観光地化、知名度・イメージアップを図っていく。

Q：『結婚・出産・子育ての希望の実現のに向けた取組み』の中で実施する具体的な事業が、重要業績評価指標（K P I）及び成果指標の達成にどのように繋がっていくのか。

A：出会いの場の創出、妊娠・出産の相談・サポート、子育ての環境整備・経済的支援を実施。

Q：『持続可能な地域づくりに向けた取組み』の中で実施する具体的な事業が重要業績評価指標（K P I）及び成果指標の達成にどのように繋がっていくのか。

A：医療・介護の充実、自治会・コミュニティの充実、定住自立圏の形成などを実施する。

2. 開運小山市共通商品券および開運小山市子育て応援商品券について

Q：共通商品券のプレミアム率を10%から20%に変更、新たに実施した子育て応援商品券のプレミアム率を30%に設定したが、決定した経緯を伺いたい。

A：小山市共通商品券発行事業実行委員会で協議し、共通商品券は例年の2倍の20%に、子育て応援商品券は子育て支援の観点から、共通商品券を上回る30%に決定した。

Q：今年の商品券は、発売日当日に全て売り切れてしまった。プレミアム率を20%したこと、売れ行きが良くなることが想定できたはず。なぜ上限額を変えなかったのか伺いたい。

A：限度額引き下げの意見もあったが、昨年度完売まで57日間かかったので昨年同様とした。

Q：今年も、国から交付金が出たことから、プレミアム分に充てたと聞いている。小山市としての負担はなかったのか、伺いたい。

A：国の地域住民生活等緊急支援のための交付金（地域消費喚起・生活支援型）で充当した。

【市政相談】

塚崎地内の市道において、近隣の小学生の通学路（大谷東小）となっているにもかかわらず、歩道もなく狭隘な路側帯にグリーンベルトを設置してもらいました。



西城南地内の遊歩道において、隣接する店舗の駐車場から車両が進入し、危険であるとの相談を受け、駐車場と遊歩道の境界に車止めを増やし、侵入できないようにしました。

【訃報】

1月22日に、野村廣元議員がご逝去されました。

野村議員は、市議会議員7期目で2013年から2年間議長を務めるなど小山市議会に大きな貢献をあげてられました。議員になって12年間、たいへんお世話になりました。

心よりご冥福をお祈りいたします。